

事 例

低入札価格調査基準価格、失格基準価格の算出例（土木工事）

【計算例】

次の発注案件に対し、表－１のような開札があったとする。

発注案件・・・設計金額（税抜き） 846,180,000円

設計金額の内訳	直接工事費	¥505,189,000
	共通仮設費	¥48,240,000
	現場管理費	¥173,980,000
	一般管理費等	¥118,771,000

注：設計金額の内訳については、開札時は非公表

開札状況（表－１）

入札参加者	入札金額	くじ番号	入札書受信日時		ミリ秒単位	区分
A者	¥830,000,000	201	R3.4.27	13時32分22秒	231	電子
B者	¥820,000,000	236	R3.4.27	13時02分15秒	556	電子
C者	¥771,000,000	555	R3.4.27	13時15分25秒	210	電子
D者	¥770,000,000	124	R3.4.27	14時13分05秒	654	電子
E者	¥800,000,000	658	R3.4.27	14時26分55秒	524	電子
F者	¥750,000,000	000	R3.4.27	15時11分52秒	116	紙

注：紙入札で参加の場合、入力くじ番号は000となり、入札書受信日時は、入札担当者が入力した時刻になる。

1. 低入札調査基本価格（税抜き）の算定

低入札調査基本価格

$$\begin{aligned}
 &= \text{直接工事費} \times 0.97 + \text{共通仮設費} \times 0.90 \\
 &\quad + \text{現場管理費} \times 0.90 + \text{一般管理費等} \times 0.68 \\
 &= 505,189,000 \times 0.97 + 48,240,000 \times 0.90 + 173,980,000 \times 0.90 + 118,771,000 \times 0.68 \\
 &= 770,795,610 \\
 &\div 770,795,000 \quad \leftarrow \text{千円未満切り捨て、千円単位で丸める。}
 \end{aligned}$$

調査基本価格は、770,795,000円になる。

2. 失格基本価格（税抜き）の算定

失格基本価格

$$\begin{aligned}
 &= \text{直接工事費} \times 0.97 + \text{共通仮設費} \times 0.90 \\
 &\quad + \text{現場管理費} \times 0.85 + \text{一般管理費等} \times 0.68 \\
 &= 505,189,000 \times 0.97 + 48,240,000 \times 0.90 + 173,980,000 \times 0.85 + 118,771,000 \times 0.68 \\
 &= 762,096,610 \\
 &\div 762,096,000 \quad \leftarrow \text{千円未満切り捨て、千円単位で丸める。}
 \end{aligned}$$

失格基本価格は、762,096,000円になる。

### 3. ランダム係数の算定

ランダム係数は、電子入札システムにおいて、入札参加者が入力する任意の3桁くじ番号と入札書受信日時秒（ミリ秒単位の下3桁を使用）をもとに自動的に算出される無作為の「1.0000～1.0060」の範囲で0.0005刻みの13通りの数字です。

- ① くじ番号（3桁）と入札書受信日時のミリ秒単位（下3桁）の総和を算出する。  
くじ番号の計  $201 + 236 + 555 + 124 + 658 + 000 = 1,774$   
ミリ秒単位の計  $231 + 556 + 210 + 654 + 524 + 116 = 2,291$   
総和  $1,774 + 2,291 = 4,065$
- ② 総和を13で除し、余りを算出する。  
 $4,065 \div 13 = 312$  余り9
- ③ ランダム係数対応表により、ランダム係数を決定する。  
今回の場合は、余りが9になるため、

ランダム係数対応表（表-2）

余り	0	1	2	3	4	5	6
ランダム係数	1.0000	1.0005	1.0010	1.0015	1.0020	1.0025	1.0030
余り	7	8	9	10	11	12	
ランダム係数	1.0035	1.0040	1.0045	1.0050	1.0055	1.0060	

ランダム係数は1.0045になる。

### 4. 低入札価格調査基準価格（税抜き）の算定

低入札価格調査基準価格

$$\begin{aligned} &= \text{調査基本価格} \times \text{ランダム係数} \\ &= 770,795,000 \times 1.0045 \\ &= 774,263,577 \\ &\div \boxed{774,263,000} \end{aligned}$$

千円未満切り捨て、千円単位で丸める。

低入札価格調査基準価格は、774,263,000円になる。

### 5. 失格基準価格（税抜き）の算定

失格基準価格

$$\begin{aligned} &= \text{失格基本価格} \times \text{ランダム係数} \\ &= 762,096,000 \times 1.0045 \\ &= 765,525,432 \\ &\div \boxed{765,525,000} \end{aligned}$$

千円未満切り捨て、千円単位で丸める。

失格基準価格は、765,525,000円になる。